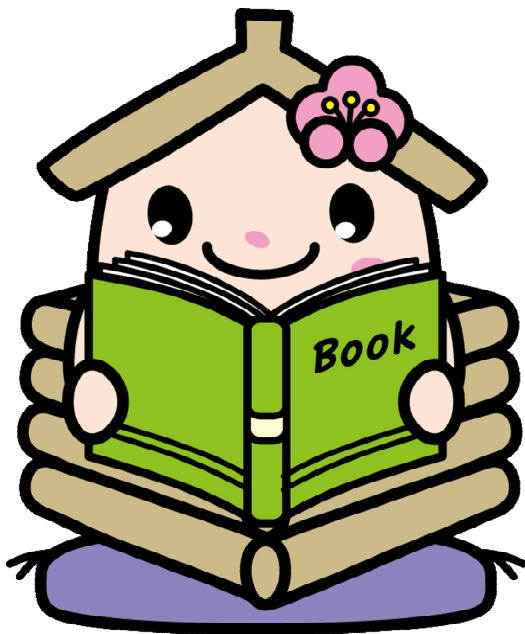


小学校3・4年生におすすめの本

2022

ブックセレクション

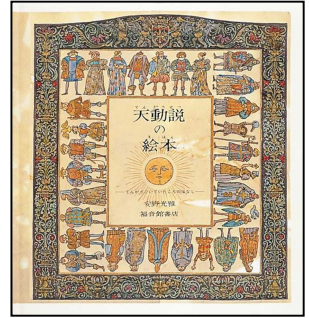


酒々井町立図書館

『天動説の絵本』 Eア

安野光雄／著 福音館書店

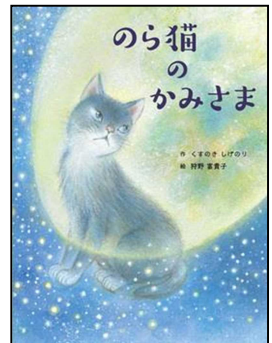
はるかむかし、人びとは天が動いていると信じていました。太陽や月や星がおちてこないのは、とても大きいおちゃわんのような丸天井にはりついていて、その丸天井がまわるからだ。しかし、ある天文学者が「地めんは丸い。そして、天の星が動くのではなくて、わたしたちの立っている地めんのほうが動くとかんがえたほうがいい」といいはじめ…。



『のら猫のかみさま』 Eカ

くすのきしげのり／作 狩野富貴子／絵 星の環会

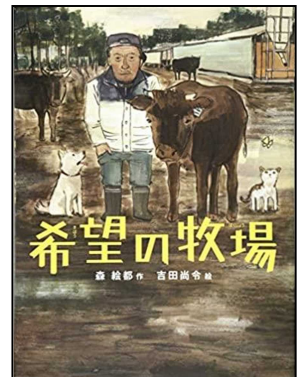
何も信じず、だれも頼らず、自分ひとりの力で生きてきたのら猫。いつからか「かみさま」なんていないのだ」と思っていました。短編集「海の見える丘」に収録されている短編を絵本化。



『希望の牧場』 Eコ

森絵都／作 吉田尚令／絵 岩崎書店

売れない牛を生かしつづける。意味がないかな。バカみたいかな。福島第一原子力発電所の警戒区域内に取り残された「希望の牧場・ふくしま」をモデルに、何が何でも牛たちを守りつづけようと決めた牛飼いの姿を描き出す。



『みえるとかみえないとか』 知Eヨ

ヨシタケシンスケ／さく アリス館

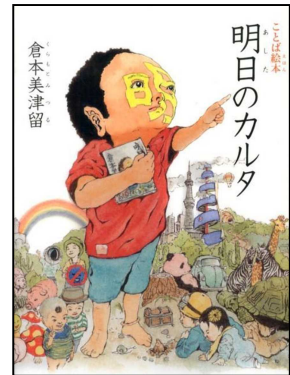
宇宙飛行士のぼくが降り立ったのは、目が3つあるひとの星。普通にしているだけなのに、「後ろが見えないなんてかわいそう」なんて言われて変な感じ…。



『明日のカルタ』 児159.ク

倉本美津留／著 日本図書センター

放送作家・倉本美津留が、今まで生きてきた中で大事にしてきたこと、人生のヒントになるようなこと、自分に対しての戒めなどを、テッポウ・デザインユニークなイラストと共にカルタ形式で紹介する。



『宇宙の話をしよう』 児538.9オ

小野雅裕／作 SBクリエイティブ

NASAに勤める父が娘と語る、宇宙探査の物語。ジュール・ベルヌの心に宿った「何か」、ロシアのロケットの父のロケット方程式、史上初めて宇宙へ行った謎のロケットV2、宇宙への夢に忍び寄る戦争の影などを語る。



『だれも知らない小さな国』 児913サ

佐藤さとる／著 講談社

小学3年のぼくはお気に入りの秘密の小山で小さな人に出会った。成長したぼくは、終戦後小さな人に再会して…。



『こんなにも面白い日本の神話』 児913.2コ1

渡邊卓／著 汐文社

日本神話をやさしく伝える。1「天地の始まり編」では、イザナキ、イザナミ、アマテラスなど、「古事記」上巻の前半にあたる、天上世界の神々の物語を収録。「古事記」とは何か」等のコラムも掲載。



『かあちゃん取扱説明書』 児913イ

いとうみく／作 童心社

「かあちゃんは、ほめると機嫌がよくなるんだ。とにかくほめること」と、とうちゃんが言っていた。扱い方さえ間違えなければ、かあちゃんなんてチョチョイのチョイだ！ぼくはかあちゃんの手取扱説明書をつくることに…。



『AIロボット、ひと月貸します!』

児913.6キ

木内南緒／作 岩崎書店

未来科学研究所の所長さんが貸してくれた「AIロボット」。ぼくの分身が作れてしまうんだって。そしてあらわれた、ぼくそっくりのロボット。これからいったい、どうなるんだ…!?



『ぼくに色をくれた真っ黒な絵描き』

児913.6キ

北川佳奈／作 学研プラス

家族を失い、ひとりになった12歳のジョアンは、父が働いていた理容店に引きとられることに。まわりから「お父さんのような理容師になってくれよ」と言われるたび、そうしなくちゃと思っていたが…。



『こずえと申す』

児913.6ヨ

吉田道子／作 ポプラ社

ぼくたちの天狗山に道路を通す計画が? 武家言葉で話す少女・こずえとぼくたちが山の自然を守るために考えたことは…。まっすぐにものごとを見つめる子どもたちのありかたを、すがすがしく描いた物語。



『さかさ町』 児933ア

F.エマーソン・アンドリュース／作 岩波書店

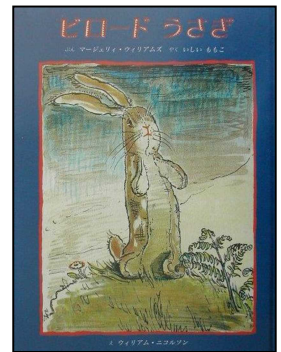
リッキーとアンは、おじいちゃんの家に行く途中、見知らぬ町で1日を過ごすことになりました。その町の名前は〈さかさ町〉。いったい、どんなところなのでしょう？



『ピロードうさぎ』 児933ピ

マージェリィ・ウィリアムズ／ぶん 童話館出版

ぼうやのもとにやってきたピロードうさぎ。ピロードうさぎは、ほんとうのうさぎになりたいと思いました…。



『オンボロやしきの人形たち』 児933.7バ

フランシス・バーネット／作 徳間書店

6人の人形たちが陽気に暮らす古い人形の家。しかし部屋の隅においやられたあげく、燃やされそうになり…。妖精の女王が語る、楽しい物語。「秘密の花園」で有名なバーネットの知られざる名作を初邦訳。



『だいじょうぶくん』 兎913.6ウ

魚住直子／作 ポプラ社

新しいクラスになじめないそうだが出会ったのは、人と話ができるぬいぐるみの「だいじょうぶくん」。離ればなれになった持ち主のまりちゃんを、一緒に探してほしいと頼まれて…。ジャケット袖に切り取って使うしおり付き。



『あかいえのぐ』 Eア

エドワード・アーディゾーニ／作 端雲舎

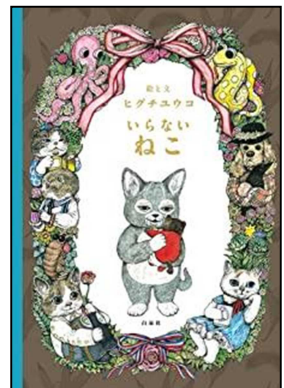
サラとサイモンのお父さんは売れない画家。家族は貧しいけれど助け合って暮らしていました。ある日、とうとうお金がなくなり、傑作を仕上げるための赤い絵の具が買えなくなって…。ふたりの子どもたちの奮闘を描いた絵本。



『いらないねこ』 兎913ヒ

ヒグチユウコ／絵と文 白泉社

捨てられた子猫を、「おとうさん」になって愛情いっぱい育てるぬいぐるみのニャンコと、あたたかく見守る優しい猫たちの物語。「せかいいちのねこ」の続編。



利 用 案 内



初めて本を借りる時

「貸出カード」を作りましょう。住所の確認できるもの（名札・はがきなど）を持ってカウンターで申し込んでください。

本を借りる時

「貸出カード」と一緒に借りたい本をカウンターに出してください。一人 10 冊まで、2 週間借りられます。CD・DVD は 2 点までです。

本を返す時

借りた本をカウンターに出してください。（貸出カードは必要ありません）図書館が閉まっている時はブックポストに返すこともできます。

本が見つからない時

貸出中の場合は予約することができます。また、図書館に所蔵がなくても、取り寄せできる場合があります。「リクエストカード」に書いてカウンターに出してください。

「読書通帳」に記録しよう

借りた本のタイトル・著者名・分類を読書通帳に記録することができます。読書通帳をまだ持っていない方は、職員に教えてください。

